

多様な人の“参加”を支援する インクルーシブボランティア コーディネーター研修

参加費
無料



大阪ボランティア協会では、誰もがボランティア活動に参加しやすくなるために「インクルーシブなボランティア活動の環境」をつくっていくことを目指しています。多様な人がボランティア活動に関わってほしいという思いはあっても、コミュニケーションや人との関係作りが苦手な傾向がある人と、どう接したらいいかわからなくて困っているとの話をよく聞きます。

本研修は、このような人のボランティア活動をコーディネートしたり、共に活動したりする中で、悩みを抱えているコーディネーターや担当者が関わるうえでのヒントが満載です。

日程：2024年11月～2025年1月

(※詳細は中面をご確認ください)

- ・ 場所：大阪ボランティア協会 市民活動スクエア「CANVAS谷町」
(大阪府中央区谷町2丁目2-20大手前類第一ビル2階)
- ・ 参加費：無料
- ・ 定員：各30人(先着順)
- ・ 対象：中間支援組織の職員
有給スタッフを雇用する規模の団体スタッフ・理事/施設の職員

こんな悩みを抱えている人に おすすめです

中間支援組織で

- ・ ボランティア活動希望者に、活動先を紹介しにくい
- ・ 活動先を紹介してもトラブルが起きて、受入先の団体から相談を受けている
- ・ 何度も電話がかかってきて、どう対応したらいいかわからない

ボランティアを受け入れている 団体や施設で

- ・ メンバーやスタッフとの関係がうまくいかず、どうしたらいいかわからない
- ・ 活動内容を何度説明してもうまく伝わらない
- ・ その人に合った活動を作ることが難しいと感じている

主催：社会福祉法人 大阪ボランティア協会

「インクルーシブボランティア」のコーディネーションモデル構築事業

～誰もが参加できるボランティア活動の支援体制づくりに向けたコーディネーター研修プログラムの開発～

※この企画は令和6年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用して開催します。



今回の研修では、ボランティアコーディネーションの基礎を学ぶ講座と、特性に応じた対応のポイントやコミュニケーション、メンタルケアについて学べるスキルアップ講座の2種類をご用意しました。

基礎講座は中間支援組織とボランティア受入団体・施設の2つの対象別に、それぞれ講義中心とワークショップ付きの2種類からお選びいただけます。ご自身の対象をご確認の上、お好みのコースにお申し込みください。

スキルアップ講座は、共通の対象で3回すべての受講をお勧めしますが、ご自身の悩みに合った講座にご参加ください。

ボランティアコーディネーション基礎講座

〈中間支援組織の対象〉

- ・社協のボラセン担当者/コミュニティワーカー
- ・市民活動センターなどのコーディネーター
- ・大学ボラセンのコーディネーター
- ・生活支援コーディネーター

〈受入団体・施設の対象〉

- ・ボランティア受け入れをしている、有給スタッフを雇用する団体のスタッフ/理事
- ・ボランティア受け入れ施設の担当者/ボランティアコーディネーター

	中間支援組織	ボランティア受入団体・施設
ーちょっと聞きたいコースー 講義中心でちょっとだけ講座を聞きたい!	B 11/01(金) 13:30~15:00	A 11/01(金) 10:00~11:30
ーワークショップ付きコースー 事例検討ワークショップ付きでしっかり学びたい!	C 11/29(金) 9:30~12:30	D 11/29(金) 13:30~16:30

スキルアップ講座

〈対象〉中間支援組織 / 受入団体・施設 共通

知的障害や発達障害がある人の対応で悩んでいる	相手にうまく伝えられない 伝え方がわからない	精神疾患や精神障害がある人の対応で悩んでいる
E 12/17(火) 13:30~16:30 発達障害の特性と対応のポイント	F 1/10(金) 13:30~16:30 居心地のよい場づくりのコミュニケーション	G 1/30(木) 13:30~16:30 メンタルヘルスと対応のポイント

※スキルアップ講座は、できるだけ基礎講座のいずれかを受講した上でご参加ください

〈対象〉地域活動者、ボランティア（グループの代表者など）

※地域活動者、ボランティア（グループの代表者など）向けには、別の講座を予定しています。詳細は右記QRコードのホームページまたは別途チラシをご確認ください。

①地域活動におけるインクルーシブな環境づくりの重要性と進め方のポイント

11月14日(木) 13:30~16:00

②居心地のよい場づくりのためのコミュニケーション

12月5日(木) 13:30~16:00

地域活動者、ボランティア対象向け講座はこちら→



参加者の声



この人は既存のボランティア活動はできない、と決めつけるのではなく、活躍できる場や強みを引き出して様々な方が活動に参加できるよう支援をすることもコーディネーターの重要な役割であると認識しました。



自身の団体だけでは解決できないことがあり、周囲の人や地域の人たちと連携しながら取り組めるよう、日ごろから関係づくりをしていきたいと思いました。他にも協力してくれるところがあるというのは励みになりました。

「インクルーシブボランティア」とは

近年、「インクルーシブ教育」、「インクルーシブ保育」など、「インクルーシブ」（包含した、すべて含んだ）というキーワードが福祉の分野に限らず社会のなかで使われることが増えています。「みんな違ってみんないい」といった多様性を理解し、誰も排除せず包含していく「ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）」の考え方やその重要性が社会の中で定着しつつあるのです。わたしたちが幸福であるために、誰もが社会参加し、支え合いながら共に生きていく社会、「地域共生社会」を実現していくために欠かせない「インクルーシブ」という考え方をボランティアにあてはめています。



■ 申込方法

各回開催日3日前までに右記QRコードのホームページから申込フォームでお申し込みください。ただし、定員になり次第締め切ります。



講座の詳細・お申込みはこちらから

■ お問合せ・申し込み先

社会福祉法人 大阪ボランティア協会【担当：^{むくのき} 椋木】

〒540-0012 大阪府中央区谷町2-2-20-2階

電話：06-6809-4901

FAX：06-6809-4902

Email：office@osakavol.org

■ 主催

社会福祉法人 大阪ボランティア協会

※この企画は令和6年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用して開催します。

「インクルーシブボランティア」のコーディネーションモデル構築事業

～誰もが参加できるボランティア活動の支援体制づくりに向けたコーディネーター研修プログラムの開発～

